

数学

大阪大学 [文系] (前期)

<全体分析>

試験時間	90 分	解答問題数	3 題
------	------	-------	-----

解答形式

記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・**やや難化**・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

論述が難しい問題が多い。

その他トピックス

2は理系**3**の特別な場合を扱う問題。

素数に関する問題は2年前 (2022年度) にも出題されている (分野は確率)。

1は河合塾2023年度高校グリーンコースI期「高3阪大数学IAIIB」で類題を扱っている。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	積分法	数学II	放物線と直線で囲まれた図形の面積	標準
2	空間図形	数学B	ねじれの位置にある2直線の共通垂線	やや難
3	数列 整数	数学B 数学A	素数の列 整数の余りによる分類	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

例年融合色の強い問題が多いので、そのような問題も含め広範囲に練習しておきたい。また、2年続けて出題されなかった確率は要注意分野のひとつである。しっかり訓練を積み理解を深めておいてほしい。